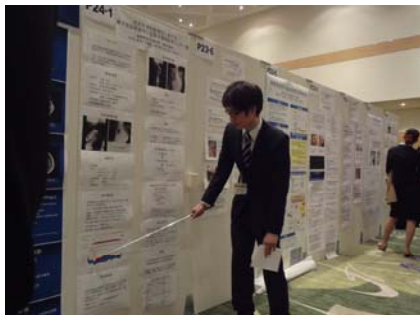


慶應義塾大学麻酔学教室 瓦版

地方会での発表

林 浩正 専修医1年目



↑発表中の林Dr.

今回、9月に開催される日本麻酔学会主催の関東支部地方学会で症例発表をしてみました。

5月より抄録を作り始め、当日のポスター発表用のポスター作りまで、指導医の先生に教示を受けながら作業を進めていきました。地方会2週間前に予演会を行い、先生方の質問や指摘を受け、さらに改訂を行いました。幾度も繰り返し添削を繰り返したスライドを、ポスターに印刷した時は達成感を感じました。

9月23日、地方会は避暑地の軽井沢で行われました。朝から緊張していましたが、

同期と昼食で和やかに過ごし、リラックスすることが出来ました。

さらに、指導医の先生方がたくさん応援に駆け付けてくださいました。熱心に指導してくださる先生や、こうしたときに忙しい中でも応援に来てくださる先生がたくさんいることが我が医局の誇るべきところだと思います。地方会終了後は、みんな各々が作ったポスターの前で記念撮影を行いました。

今回の経験を糧に、次の発表ではより良い発表をしたいと思います。

海外学会(ESA)参加記

古本 恭子 専修医1年目

2011年6月9日～12日、花の都パリで欧州麻酔学会ESAが開催され、参加させて頂きました。ちょうど同時期に日本麻酔科学会もあり、東京～神戸～成田～パリという慌ただしい日程でした。

今回はパリということで、アジアからの参加者も多く、国際色豊かな雰囲気でした。もちろん英語での発表・講演でしたが、フランス人やスペイン人の英語は聴き取り辛く、英語に慣れていない様子の発表者もあり、英語圏以外の人間は苦勞するのだな、と共感を覚えました。

器械展示では、最新の麻酔器や日本では見た事のない器具が多くありました。LMAを挿入後、胃管を入れるまでの時間を競う、といったゲームもあり、挑戦してみましたが上位には入れませんでした。残念。

学会の合間には街歩きをしたり、カフェに行ったりと楽しむことができました。

ESAに参加することで、自分の知らない麻酔の世界にも触れる事ができました。手術室も忙しい中、こういった貴重な経験をさせて頂き、本当に感謝申し上げたいと思います。



↑学会会場



↑④学生に指導をしました。

↓⑤指導後の懇親会の様子



CPR実習 増田 義之 専修医4年目

9月1日、毎年恒例となったCPR実習に参加しました。

対象となるのは医学部に入学してまもない1年生であり、医学の知識もまだほとんどない相手に分かりやすく教えることの難しさを感じながらも、実習に参加してくれた学生達の熱意に後押しされて、楽しく充実した1日を送ることができました。

今やCPRは医師にとってはもちろん非医療従事者にとっても重要なスキルであり、今回の実習を通じて、心臓マッサージを中心としたBLSの重要性を再確認することができました。

実習で汗を流した後は、関連病院の先生方も交えての懇親会が開催され、美味しいビールを飲みながら楽しく情報交換も行えました。